



# 三原市老人大学 ふれあい

第95号  
発行・編集  
三原市老人大学  
ふれあい新聞  
編集委員会  
電話 64-6868

## 老人大学入学式 学長式辞

植木 章弘

大学の学生の皆さん、よく入学してくださいました。心から歓迎申し上げます。皆さん方が生涯学習の一つに三原市老人大学を選んでくださったことに敬意と感謝の思いです。

私は今年も職員と三日間にわたる入学願書受付事務に携わることができました。そこで多くの方に接することができ、皆さんの老々に寄せる熱い思いを身近に感じたのであります。

今年も再入学の方に合わせて多くの新入学の方を迎えることができました。「入学できる年齢になったので喜んできました。」とおっしゃる方。「この年齢で初めて来ました。」とおっしゃる方。また、十歳を超えて初入学の方。また、親子で手続きをなさる方、ご夫婦で手続きをなさる方、毎年心温まる光景です。これに加えて今年も、中学生のお孫さんを連れてお越しの方がいました。「僕はもう卒業式が済んだ。じいちゃんや初めてなんで一緒に来た。」そう言って、おじいさんの願書の記入をやさしくチェックしてくる男の子の姿がありました。老人がここまで市民の

皆さんに定着していることにより三原市行政のご支援のおかげであります。

今年も駅前移転に向けて節目の年です。オリンピックの聖火のように老人の成果をしっかりとつないでゆきましょう。

人生百年時代と言われる今日、年を重ねても、生きがいを持って心身ともに元気でありたいというのが、お一人お一人の願いであり、地域社会のテーマです。

先ほど卒業表彰をさせていただきました。どうかこれからも老人の先輩として、「人生百年時代」をリードしてください。

ちなみに、今年度学生さんの最高齢の方は、短歌コースで学ばれる九十八歳の方です。昨年度の「あゆみ」には次のような歌を詠まれておられます。

「何時にしか ルーペ持ち出し見る新聞 白内障の手術をいう 医師」年を重ねて、ご自身の体の変化を歌にされていますが、実に自然体・むしろ前向きな生き方が素晴らしいと思います。

先般、世界最高齢ということでも、福岡市にお住まいの一一六歳の田中かねさんとと言われる方が、ギネス社の認定をお受けになった時のことです。認定書をお受

けの時、涙を浮かべて「ありがたいでございます。」と感謝の言葉を述べられ、報道陣から「これまで一番うれしかった出来事は何ですか。」と問われて、力いっぱい「今です。」と嬉しそうにお答えになられたという記事を見ました。

まさに、皆さんが日々努力されている本学のめざすテーマ「楽しみから喜びへ、学んで輝き伝えて輝く」に重なる生き方であります。「今、学べる楽しみがある。」「今がありがたい。」「今、学びを地域に生かせる喜びがある。」「私自身も、このテーマが習慣となるよう皆さんと一緒に努力してゆくつもりです。皆さんは新たな「期待と目標」を持って、今日の日を迎えられています。どうか、楽しいことを一生懸命に。この一年を最高の一年にしてください。(一部抜粋)



## 入学のことば 学生代表

料理③コース 内田 和子

厳しかった冬も去り、柔らかな春風とともに、すべてのものが躍動を始めるよい季節がまいりました。

筆影山の桜も見事に咲きそろい春の日の暖かなこのよき日、千百十七名の学生が三原市老人大学に元気で楽しく学ぼうと心新たに入学しました。

本日は大変ご多用の中、天満三原市長様をはじめ、多くのご来賓の皆様方のご臨席を賜り、このように立派な入学式を挙行していただきますことを感謝し、心よりお礼申し上げます。また、先ほどは天満市長様・仁ノ岡市議会議長様より、心温まるお言葉をいただき誠にありがとうございました、厚く御礼申し上げます。

かえりみみずと「楽しみから喜びへ 学んで輝き 伝えて輝く」のテーマのもと私は学び始めて十年になりました。

長寿社会の今日「いつまでも元気で暮らしたい」と多くの方が願っています。食生活に気を付けて暮らすことはとても大切で料理のレパートリーも増やしたいと考え、引き続き料理コースで学ばせていただくことになりました。

料理教室では、和食・洋食・中華に限らず、毎回バランスの良い献立メニューをこなしています。

講師の先生は優しく切り方、出汁の取り方、盛りつけ方など丁寧にご指導くださいます。

老人大学で学び、輝き続けることに感謝し、令和元年度新たな気持ちで多くの学友どうしがお互いに笑顔でつながり共に学び合っていけます。そして、学んだことを地域に帰って、その輪を広げ輝いてまいりたいと思っております。

豊かな人生となるように日々明るく楽しく元気に学んでいきます。老人大学のテーマ「楽しみながら喜びへ 学んで輝き伝えて輝く」を目標に、入学生一同充実した学習をさせていただきます所存であります。

学長様をはじめ講師の先生方そして、事務局の先生方、よろしくご指導してくださいませようお願ひ申し上げます、新入生を代表しまして入学の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



改装の原爆資料館を訪ねて

院パソコン① 恵美 晋一

去る五月末日、久し振りに広島を訪ねる機会があり時間があればと、かねてから考えていた新装なった原爆資料館を訪れることにした。

当日は、ウィークデーにもかかわらず大勢の中小学校の生徒、高校生や外国人入場者で溢れていた。

既に、入館された方もいらっしやるかもしれませんが、基本的には改装前と変わらないのかもしれないが、その数が随分と増えているように思えた。

大きく変わったのは、その展示方法である。暗い部屋の中に、展示物を光線で明るく照らし日本語、英語、韓国語、中国語などで説明されている。その展示物の前には大勢の人が群がってゆつくりと進んでいる。

外国人は静かにじっくりと見て歩を進めているに比べ、日本の子供達はどこかそわそわとしていてどう感じているのだろうか。学校や他でいろいろと教わっているからか。

私のある日

院パソコン① 大住 美代子

主婦にとって一番大切なこと、それは家事だと思います。洗濯、

掃除、片付け、食事作り。時々夫に手伝ってもらいながら...

それより優先してしまう趣味。私が今一番大切にしているのは、花壇の手入れ。美しい花を愛でるため、草取り、花がら摘み、施肥、水やり、種をまいた苗の定植、そのための花壇の整地、少し苗が伸びてきたものやつる

雨に似合うあじさいは、私の雨の日の憂うつを忘れさせてくれます。

老大の日、雨の日、日が暮れて暗くなった時以外は、花壇で何かをしています。さて、明日も早起きして、暗いうちに家事を頑張っておきましょう。明るくなったら、花たちとおしゃべりするのために。

寿命を受け入れ人生に感謝

院パソコン① 森岡 富美子

私の一日は、愛犬との散歩から始まり、お墓参り、植木の水やり、朝食がすんだら洗濯、掃除、買い物と毎日バタバタして日が暮れます。昔出来たことが半分しかできなくなった今、不安は尽きませんが心は年をとらない。若いころのときめいた感動を忘れず、後ろを振り返らず前を向いてすべてに感謝しながら、いつの日か来るお迎えの日まで元気に過ごしたいです。

絵本の読み語り

院パソコン① 石井 恵以子

図書館にやってくる子供たちに、ときには、学校に出掛けて絵本の読み語りをしている。乳幼児を対象の時は絵本だけでなく童歌や手遊びを取り入れていく。昔から歌い継がれてきた童歌で、我が子が小さかったころは、「おつむてん」などで遊んだものだが、最近では童歌を伝える大人も少なくなっている。童歌には子育ての知恵がいっぱい詰まっている。また、親子の暖かい触れ合いができる。読み語りの時に童歌を歌う親子の楽しそうな笑顔はとても微笑ましく、私の気持ちも自然と和んでくる。学校での読み語りの時は、絵本の選書に悩んでしまう。悩みながら選書した本の読み語り

で、子供たちの目、耳が絵本に集中している姿を見ると、『この本を選んでよかった』とほっとするとともに子供達から元気をもらっている。選書は常に子供たちの気持ちに沿った絵本を選ばなくてはと思う。

オレオレ詐欺に要注意

院パソコン① 迫 澄雄

先日ちゅーびーメールマガ編集部よりメールが届きました。その内容です。

キャッシュカードを

渡さないで

【呉警察署】

- 広島県内各地で、警察官や市役所職員などを語って、
- 犯人を捕まえたなら、名簿にあなただの名前があった。
- キャッシュカードが偽造されている疑いがある。
- 健康保険料の過払いがある。
- 還付の手続きをとるので、取引のある銀行とカードの暗証番号を教えてください。

などと言い、自宅でキャッシュカード及び通帳をだまし取る事案が発生しています。

★だまされないうために★  
・ 公的機関がキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞いたりすることはありません

・ 暗証番号は他人に教えないでください  
・ 不審な電話等があれば必ず誰かに相談しましょう

昨年(9月)でも広島県警察署生活安全総務課の資料を使い講演会がリージョンプラザで開催されました。

これが特殊詐欺だ！(特殊詐欺とは、電話やメールなどを使ってお金をだまし取る詐欺の相称です。)

老大生の皆さん、くれぐれも詐欺には用心して下さい。

贅沢な老後の生活

院パソコン① 植野 廸子

谷島せい子著書の「女は六十才からが一番！」を知ってから十年以上たった今、自由な気楽な生活をしています。今まで頑

張りすぎたことに反省しつつ、今の自分の身の丈にあった、無理せず、好きな時に好きなことができる時間があります。見栄を張らず無理しない穏やかに満たされた生活があります。しまい込んだら、あることを忘れしまうのでだしっぱなしで、すぐ使える状態にする、見える収納です。

毎日の生活は自分でできるだけ、自分で行い、身なりも身ぎれいにしている。  
こんなことするのも楽しいかな？と思いつながら、心身ともにプレッシャーのない暮らしが最上の贅沢かも知れません。いろいろ試しながら、ひとり時間を楽しんでいきます。

私とグラウンドゴルフ

院パソコン① 梶谷 将史

私がグラウンドゴルフと出会ったのは平成十六年頃町内会クラブに入会、ルールもわからないまま始めたのがきっかけでした。三原市の協会にも加入し、多くの仲間と語らい触れ合うことが出来ました。当時ゴルフが趣味で毎月のように月例会に通っていました。ゴルフに比べそのルールは簡潔に纏められており、裏を返せば一つのプレイにいろいろな解釈がとられることになり、自分自身が審判員であることです。判定に迷えば同伴者の判断を仰ぎ、エチケットを守り、楽しんでいきます。

※次は院パソコン②の担当です。